

## 静岡県掛川市の地域部活動 実践事例

### ～ 掛川未来創造部 Palette ～

9月29日～12月1日

一般社団法人ふじのくに文教創造ネットワーク 理事長 齊藤 勇 (2018.12.5)  
地域部活・掛川未来創造部 Palette 顧問



(写真) 12月1日「和ノ音で聴く～平家物語・竹取物語～」終演後ロビーにて

後列：地域部活・掛川未来創造部 Palette の中学1年生  
前列：「和ノ音」アーティスト (写真左より 稲葉美和、坂田美子、坂田梁山の各氏)

#### ガイドライン〈文化部活動の特色と課題〉より

(素案修正案)「ガイドラインの策定に当たって」より一部抜粋

…(前略)… さらに、新しい中学校学習指導要領では、「多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。」としており、音楽的な見方・考え方や造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化、美術、美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するためには、自ら表現するだけでなく、地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設と連携を図り、それらの施設や文化財などを積極的に活用するような、芸術文化に関する幅広い活動機会を設けることも重要である。

…(中略)… 質の高い文化芸術の鑑賞機会や地域の伝統文化に触れる機会の充実に努めており、鑑賞・体験機会等充実にための事業を推進している。このような機会事業等も活用しながら、生徒が多様な学びや経験をする場や自らの興味・関心を深く追及する機会の充実により一層努めていただきたい。

#### 実践事例

【概要】 日本の物語の朗読 鑑賞をきっかけに、  
歴史と和楽器 双方への関心を高めながら 生徒たち自身で予習をし、  
最後には プロアーティストによる和楽器の演奏・語り・歌の公演を鑑賞。

#### 【教育課程との関連】

- ★ 社会 大陸からの文化の伝来 (五絃琵琶など)、文化の国風化 (最古の物語 “竹取物語”)、  
武士の台頭と武家政治 (源平の戦い)、鎌倉文化 (平家物語、琵琶法師)
- ★ 音楽 日本の伝統音楽の鑑賞 (和楽器 = 琵琶、尺八、箏)

(1) 9月29日 日本の物語 朗読 鑑賞 << 主な活動の柱② 優れたアーティストの表現の鑑賞と交流 >>



朗読：堤腰 和余 (朗読家、掛川未来創造部・放送指導講師)

日本の物語・怪談「耳なし芳一」の朗読を鑑賞。  
『怖かった〜』と生徒の多くが感想を述べたように、  
琵琶法師・芳一の物語の世界に引き込まれた。  
この鑑賞をきっかけに、平家物語や琵琶法師について  
興味や関心を持つ契機になった。

(2) 11月6日 放送プログラム << 主な活動の柱① 各種表現の練習と発表 >>



講師：堤腰 和余 (掛川未来創造部・放送指導講師) ※写真手前

朗読の練習の途中、9月29日の「耳なし芳一」鑑賞の  
振り返りから、講師より平家物語や琵琶法師の話しに  
ふれながら、12月1日の移動教室 (和ノ音 公演鑑賞)  
への期待感を抱く機会になった。

(3) 11月29日 生徒による「竹取物語」「平家物語」に関するレクチャー



希望する生徒2名が、12月1日の  
鑑賞を前に、「竹取物語」「平家物語」  
の内容 (基礎的な知識等) について  
それぞれレクチャーを行い、一緒に  
学んだ。

(4) 12月1日 「和ノ音で聴く ～平家物語・竹取物語～」朗読 鑑賞 << 主な活動の柱③ 移動教室 >>



演奏：坂田 美子 (琵琶)  
坂田 梁山 (尺八)  
稲葉 美和 (箏)

公演主催：(公財) 掛川市生涯学習振興公社 / 掛川市  
公演助成：(公財) 三井住友海上文化財団

※写真の掲載について、アーティスト各位より許諾を得ています。



終演後、ロビーで生徒数名がアーティストの皆さんに  
感想を話すなど、交流の時間をいただいた。

<生徒の感想より (一部)>

- ★教科書の写真でしか見たことがない琵琶の音を、  
実際に聴けてよかった。
- ★初めて聴いたのに、どこか懐かしい感じがして、  
最後のアンコール曲は泣けました。 など